

平成27年1月6日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」の基準価額の下落について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許の市場動向と「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)」への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドへの影響

ファンド名	平成27年 1月5日 基準価額(円)	平成27年 1月6日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) ツインα・コース	10,034	9,494	▲540	▲5.38
ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型) シングルα・米ドルコース	10,008	9,460	▲548	▲5.48

(小数点第3位以下四捨五入)

◆ 市況情報

	平成26年 12月30日	平成27年 1月5日	騰落率(%)
iシェアーズ MSCI ブラジル・キャップト ETF(米ドルベース)	36.76	34.15	▲7.10

海外の市場については基準価額への反映を考慮し、平成26年12月30日と平成27年1月5日と比較しています。

(小数点第3位以下四捨五入)

	平成27年 1月5日	平成27年 1月6日	騰落率(%)
米ドル	120.34	119.35	▲0.82

為替レートは三菱東京UFJ銀行の対顧客公示相場の仲値

(小数点第3位以下四捨五入)

出所:ブルームバーグ

- iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」について出資、発行、保証、販売及び販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「ブラジル株式ツインαファンド(毎月分配型)ツインα・コース/シングルα・米ドルコース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものではなく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディング及び販売に関して、一切責任を負うものではありません。

## ◆ 足許の市場動向

2014年12月30日から2015年1月5日にかけて、ブラジル株式市場は大きく下落しました。

特に産油国の減産姿勢が見られず供給超過となり、WTI(ウエスト・テキサス・インターミディエート)原油先物価格が一時50米ドルを割り込む水準まで下落したことに加え、その他の資源価格も低下傾向が続いたため、ヴァーレなどの資源関連銘柄が大きく値を下げました。

また、ブラジルの証券当局が、国営の大手石油ガス会社ペトロbrasの経営陣に対する汚職疑惑の捜査に乗り出すと懸念され、ペトロbrasの株価が急落し、ブラジル株式市場の下落を主導しました。さらに、ブラジル中央銀行のトンビニ総裁が昨年末、ブラジルレアルの対米ドル相場を支える目的での介入を、少なくとも2015年3月末まで続けると発表しましたが、その規模が半減されるため、ブラジルレアル安となったこともブラジル株式市場の下落につながりました。

## ◆ 今後の見通し

軟調なブラジル経済に加え、商品価格の下落などを背景に足許ではリスク回避の動きが強まって厳しい環境となる中、2015年1月から2期目を迎えるルセフ大統領が、市場から評価の高いジョアキン・レビ氏を財務相に起用して財務再建に積極的に取り組む姿勢をみせており、短期的に景気が押し下げられる可能性があります。

しかしながら中長期的には、こうした政策により財政の健全化や経済成長見通しが改善し、ブラジル株式市場を下支えしていくと期待されます。

以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが受益者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

## 投資信託のお申込みに際してのご留意事項

### 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

### 投資信託に係る費用について

#### ◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.32%(税込)

信託財産留保額・・・上限 3.0%

#### ◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 2.052%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

\*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

\*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。